



ごあいさつ

倉敷管弦楽団
団長 田辺幹夫

本日は、倉敷管弦楽団の第12回定期演奏会に御来場頂き誠にありがとうございます。

私達の倉敷管弦楽団は、昭和49年の創立以来皆様方の絶えざる御支援により順調に発展をつづけ、おかげさまで毎年1回の定期演奏会も今年で12回目を迎えました。今後も一層の御声援をよろしくお願い致します。

今回は、指揮者に関西の新進気鋭の佐渡 裕氏をお迎えし、ヴァイオリン独奏は倉敷管弦楽団コンサートマスターの守屋美枝子、ヴィオラ独奏は倉敷ジュニアフィルハーモニー常任指揮者の江島幹雄氏という陣容で日頃の練習の成果を力一ぱい御披露します。どうかごゆっくりお楽しみ下さい。

プログラム

組曲「カレリア」 作品11.....シベリウス

1. インテルメッツォ・モデラート
2. パラード テンポ・ディ・メヌエット
3. 行進曲 モデラート

協奏交響曲 変ホ長調 K364.....モーツァルト

- 第1楽章 アレグロ・マエストーソ
- 第2楽章 アンダンテ
- 第3楽章 プレスト

交響曲 第3番 イ短調 作品56「スコットランド」.....メンデルスゾーン

- 第1楽章 アンダンテ・コン・モートー アレグロ・ウン・ポコ・アジタート
- 第2楽章 ヴィヴァーチェ・ノン・トロポ
- 第3楽章 アダージョ
- 第4楽章 アレグロ・ヴィヴァチッシモ



倉敷管弦楽団の主な演奏記録

●第1回定期演奏会 (S50.12.8)

ヘンデル 合奏協奏曲 Op6-10
 ヴィヴァルディ 協奏曲集「四季」より春夏
 バッハ カンカータBWV202
 ブランデルブルグ協奏曲第4番
 小山清茂 弦楽の為のアイヌの歌
 指揮/菊池 東

●第2回定期演奏会 (S51.11.16)

ヴィヴァルディ 2つのトランペットの為の協奏曲
 バッハ ブランデンブルグ協奏曲第1番
 レスピーギ リュートの為の古代舞曲とアリア第3組曲
 ボッケリーニ チェロ協奏曲変ロ長調
 指揮/早川 正昭 チェロ/山崎 伸子

●ランパルと管弦楽の夕べ (S52.9.24)

テレマン フルート協奏曲ニ長調
 モーツァルト フルート協奏曲第1番その他
 指揮/早川 正昭 フルート/ランパル

●第3回定期演奏会 (S53.1.8)

ヘンデル 水上の音楽 (ハレ版)
 モーツァルト ヴァイオリン協奏曲第3番
 ドボルザーク 弦楽セレナーデホ長調
 指揮/フォルカー・レニック ヴァイオリン/和波 孝禧

●ゴールドブレンドコンサート (S53.11.3)

ウエストサイド物語・序曲
 ロッキーのテーマ
 スターウォーズのテーマ他
 指揮/石丸 寛 ゲスト/雪村いづみ

●第4回定期演奏会 (S53.12.10)

ブリテン シンプルシンフォニー
 バッハ 二つのVnの為の協奏曲
 モーツァルト 交響曲第38番ニ長調 (ブラーハ)
 モーツァルト ピアノ協奏曲第20番ニ短調
 指揮/菊池 東 ピアノ/深沢 亮子

●特別演奏会 (S54.7.15)

ヴィヴァルディ バイオリン協奏曲イ短調
 シューベルト 交響曲第8番ロ短調 (未完成)
 ベートーヴェン バイオリン協奏曲ニ長調
 指揮/榎本 辰郎 ヴァイオリン/水島 愛子

●第5回定期演奏会 (S54.12.9)

モーツァルト 交響曲第40番ト短調
 ハイドン チェロ協奏曲第2番ニ長調作品101
 ベートーヴェン 交響曲第1番ハ長調作品21
 指揮/菊池 東 チェロ/安田謙一郎

●管弦楽の為の高梁川初演発表会 (S55.5.31)

ワグナー ニュルンベルグのマイスタージンガー
 前奏曲
 モーツァルト 交響曲第38番ニ長調「ブラーハ」
 園 伊玖磨 管弦楽の為の高梁川
 指揮/園 伊玖磨 菊池 東

●第6回定期演奏会 (S55.12.7)

ヘンデル 合奏協奏曲 Op6-6
 モーツァルト オーボエ協奏曲ハ長調
 ドヴォルザーク 交響曲第9番「新世界より」
 指揮/堤 俊作 オーボエ/ディーテルム・ヨナス

●第7回定期演奏会 (S56.6.9)

モーツァルト デイヴェルティメントニ長調 K136
 ビゼー アルルの女 第2組曲
 ベートーヴェン 交響曲第7番イ長調 作品92
 指揮/早川 正昭

●ゴールドブレンドコンサート (S56.9.23)

レスピーギ 交響詩「ローマの松」
 チマローザ オーボエ協奏曲ハ長調
 ヴェルディ 歌劇「アイダ」より凱行進曲 他
 指揮/石丸 寛 オーボエ/小島 葉子
 ソプラノ/中沢 桂

●二期会中・四国支部オペラ公演 (S56.12.13)

モーツァルト オペラ「魔笛」
 指揮/古谷 誠一

●第8回定期演奏会 (S57.6.6)

ベートーヴェン エグモント序曲
 モーツァルト 交響曲第41番 ジュピター
 スメタナ 交響詩組曲「わが祖国」より
 高い城 モルダウ
 指揮/古谷 誠一

●倉敷管弦楽団岡山演奏会 (S57.12.13)

モーツァルト セレナーデ第9番「ポストホルン」
 シューマン ピアノ協奏曲
 ドボルザーク 交響曲第8番
 指揮/菊池 東 ピアノ/田中いづみ

●ゴールドブレンドコンサート (S58.4.30)

チャイコフスキー 「くるみ割り人形」より花のワルツ
 ヴァイオリン協奏曲
 交響曲第5番
 指揮/石丸 寛 ヴァイオリン/前橋 汀子

●二期会中国支部オペラ公演 (S58.10.6 / S58.10.16)

モーツァルト オペラ「フィガロの結婚」
 指揮/古谷 誠一

●第9回定期演奏会 (S58.12.11)

モーツァルト 「フィガロの結婚」序曲
 メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲ホ短調 作品64
 ベートーヴェン 交響曲第3番変ホ長調「英雄」
 指揮/湯浅 卓雄 ヴァイオリン/豊田 弓乃

●玉島文化センター落成記念コンサート (S59.6.2)

スッペ 喜歌劇「詩人と農夫」序曲
 園 伊玖磨 管弦楽の為の高梁川
 ベートーヴェン 交響曲第5番ハ短調「運命」
 指揮/菊池 東

●倉敷第九演奏会 (第10回定期演奏会) (S59.12.2)

ベートーヴェン レオノレ序曲第3番
 ベートーヴェン 交響曲第9番「合唱付」
 指揮/堤 俊作

●第11回定期演奏会 (S60.6.1)

ドビュッシー 小組曲
 フンメル トランペット協奏曲
 ブラームス 交響曲第2番
 指揮/金 洪才 トランペット/津堅 直弘

●玉島ライオンズクラブ30周年記念演奏会 (S60.9.16)

モーツァルト 「フィガロの結婚」序曲
 ショパン ピアノ協奏曲第1番
 チャイコフスキー 白鳥の湖(抜粋)
 指揮/菊池 東 ピアノ/曾我 厚子

●二期会中国支部オペラ公演 (S60.11.14 / S60.12.1)

モーツァルト 「オペラ コシ ファン トウッテ」

プロフィール



倉敷管弦楽団

“美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を”を合言葉に昭和49年設立の倉敷管弦楽団は、文化都市倉敷にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団です。バロックから現代曲迄幅広い演奏活動で岡山県を代表する楽団として、昭和57年には岡山県文化功労賞を受賞、昭和60年には倉敷文化連盟賞を受賞、将来を大きく期待されています。発足以来美しい弦の響きには定評があり、フルートの世界的巨匠ジャンピエール・ランパル氏との共演を初め、ヴァイオリンの和波孝禧氏、前橋汀子氏、豊田弓乃氏、ピアノの深沢亮子氏、チェロの安田謙一郎氏、山崎伸子氏、オーボエのディーテルム・ヨーナス氏、トランペットの津堅直弘氏、又岡山県内で活躍中の音楽家達との共演や、團伊玖磨氏作曲の「管弦楽の為の高梁川」の初演や400名からなる第九

演奏会、二期会中国支部とのモーツァルトのオペラ「魔笛」「フィガロの結婚」「コシ・ファン・トゥッテ」の演奏等それぞれ注目的となる多彩な演奏活動を続けています。

定期演奏会では早川正昭氏、フォルカー・レニック氏、堤俊作氏、古谷誠一氏、湯浅卓雄氏、金洪才氏と現在各地で活躍中の指揮者を客演指揮者として招き楽団のレベル向上も計っています。

倉敷管弦楽団団員募集

- 定例練習日 毎週月曜日 PM7:00~9:30
 - 練習場所 倉敷市民会館 練習室
- 希望者は下記にご連絡下さい。
- 田辺幹夫 TEL 0862-63-3521
菊池 東 TEL 08652-2-5145

指揮 佐渡 裕

1961年京都に生まれる。

京都市立堀川高校音楽科を卒業後、京都市立芸術大学に進み、フルートを伊藤公一、川瀬螢公の両氏に師事。1982年関西二期会主催の歌劇「蝶々夫人」公演で手塚幸紀、フルニオ・ヴェルニツィ両氏の副指揮者として活躍、また同会主催の「子供と呪文」「アマールと夜の訪問者」の副指揮者を、「るつぽ」で佐藤功太郎氏の副指揮者をつとめる。

京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団など各地のオーケストラの指揮、合唱指揮をつとめ好評を得る。現在、同志社女子大学非常勤講師。

ヴァイオリン 江島 幹雄



東京芸術大学卒業。同大学院修了。浅妻文樹、井上武雄、ウィリアム・プリムローズの各氏に師事。東京都交響楽団を経て作陽音楽大学講師。この間、リサイタル、コンチェルトのソリストとして、またアルシェ弦楽四重奏団のヴァイオリン奏者として各地で室内楽の演奏会に出演。

現在、倉敷市立短期大学講師。アルシェ弦楽四重奏団。倉敷ジュニアフィル常任指揮者。

東京芸術大学卒業。林 龍作、多久興、ウィルフリード・ハンケの各氏に師事。日本フィル、ゼフィール弦楽合奏団のソリストとして活躍。リサイタル、ジョイントリサイタルを岡山、倉敷、津山にて開催。また、アルシェ弦楽四重奏団のヴァイオリン奏者として各地で室内楽の演奏会に出演。この間、岡山大学、山陽女子高等学校にて教鞭をとる。

現在、作陽音楽大学助教授。アルシェ弦楽四重奏団。倉敷管弦楽団コンサートマスター。

ヴァイオリン 守屋美枝子



シベリウス 組曲「カレリア」

カレリアというのは、ソ連とフィンランドの国境にある地方の名で、この地方はフィンランドの伝承文化の宝庫といわれています。「カレリア」は有名な民族叙事詩「カレワラ」の中に登場する悲劇の英雄を描いた劇音楽で、その中から演奏会用として3曲が選ばれて組曲となりました。「カレワラ」とはフィンランドのことを指した詩的名称で、「英雄（カレワ）の国」の意味です。この叙事詩カレワラは、フィンランド人に大きな民族的自信と精神的支柱を与え、多くのすぐれた芸術作品の主題やインスピレーションの源となっていますが、シベリウスの音楽もまた同じです。この組曲の第3曲や交響詩フィンランディアなどを聴いていると、国民の精神の高揚をうたいあげている感じがします。

モーツァルト 協奏交響曲 変ホ長調

「ヴァイオリンとヴィオラの為の二重協奏曲」といってもよさそうなこの作品は、初版から協奏交響曲と呼ばれ、この呼び方の方が実にしっくりしています。変ホ長調という調性の交響的充実、ふたりのソリストの緊密な対話と全体に溶けあった有機的な統合性、そして、何よりモーツァルトの類のない音楽のこの豊醇で弾力ある響き。二つの弦のソロは競演というより対話の関係にあり、管弦楽との連携も緊密でザルツブルグ時代のモーツァルトの全作品を通じて最も魅力ある天才的な作品のうちに入るでしょう。

メンデルスゾーン 交響曲第三番「スコットランド」

はからずしもチャールズ皇太子、ダイアナ妃訪日の年にスコットランド交響曲がとりあげられました。スコットランドといえば日本人にとって最もなじみ深いものは、スコットランド民謡でしょう。“蛍の光”、“麦畑”、“アニーローリー”など、長調ですがちょっとさびしい感じのする心にしみとおるような美しい旋律ですね。民謡のほかには、ジョニー・ウォーカーなどウイスキーの産地、ゴルフの発祥地、ママレードの発祥地、そしてチェックの制服とバグパイプの軍隊などで親しみを感じる国です。

さて、1829年、20才のメンデルスゾーンはスコットランドのエディンバラを訪れましたが、悲劇の女王メリー・スチュアートの面影を残す古城ホルルート城の宮廷の礼拝堂で、一つの交響曲の構想が浮かびました。そのときに書き記されたのが、第一章冒頭の10小節です。しかし完成までには10年以上を要し、その間に何度もイギリスを訪れています。楽譜の出版の事情で、第3番となっていますが、実際にはメンデルスゾーンの最後の交響曲です。この交響曲はスコットランドの単なる叙景詩でなく、スコットランドの風物に対するメンデルスゾーンの深い愛着の現われと考えた方が適切でしょう。秩序と均整のある古典的な形式の中に、メンデルスゾーン独特の憂いをおびた美しい旋律や品の良さを思わせる明るい旋律がいたるところに現われ展開されています。

